



BOSCOLO TOURS
NEWS LETTER VOL. 20

イタリア・陶器の町



カルタジローネ・サンタマリア・デル・モンテ大階段

FEB 2010

イタリアには小さな工房が並ぶ田舎町から、産業として栄える大きな町まで魅力溢れる「陶器の町」がいくつもあります。

イタリアの陶器は他の南欧諸国と同じく、マヨルカ焼(テラコッタの上に錫釉を全体に施したもの)が主で、白地にカラフルな色彩で様々な絵柄が描かれているのが特徴です。14世紀頃スペインから伝わり、15~16世紀のルネサンス期に最盛期を迎えたイタリアの陶器は、独自に進歩した技術や新しい色によって洗練されていきました。各地の伝統的な色の取り合わせや絵柄だけではなく工房によっても特徴が異なり、店先に並ぶ様子を眺めているだけでもその土地の風土や文化の魅力を存分に感じ取ることができます。下記に代表的な町を3つご紹介いたします。

焼き物好きには陶器のお店を眺め歩くだけでも楽しめますが、さらに興味がある方には、工房見学、絵付け体験や1日陶芸コースも手配可能です。

Faenza ファエンツァ (エミリア・ロマーニャ州)

元来この土は他の地域の土よりも、焼き上がりが白くきめ細かく強度があるとされ、古くから陶器技術が発展していましたが、ルネサンス期にはさらにたくさんの優れた技術が生まれ、ファエンツァの陶器は国内にとどまらず諸外国にまで伝わりました。フランスでは陶器全般を指す「Faïence」ファイアンスという言葉はこの町が語源になったほど、欧州では陶器の最先端の町だったのです。食器や花器だけではなく、ファエンツァとその周辺の町にはタイル工場がたくさんあり、一大陶器産業地帯になっています。

また国際陶芸美術館の様々な国と時代の陶器コレクションは世界最大級です。

<ボローニャから約57km、車で50分>

Caltagirone カルタジローネ (シチリア州)

「ヴァル・ディ・ノートの後期バロック様式の町々」の一つとしてユネスコ世界遺産に登録されているこの町は、陶器と一体化していると言ってよいほど、町のあちこちに陶器が自然に馴染んでいます。特に124段のサンタマリア・デル・モンテ大階段(Scalata di Santa Maria del Monte)は1段1段色合いと模様が異なるマヨルカ焼きのタイルで装飾されており、町のシンボルともなっています。毎年5~6月にはインフィオラータという花の祭典の期間にはこの階段が色とりどりの花で、7月と8月のお祭りの時にはランプで、大階段に絵が浮かび上がります。マヨルカ焼がイタリアに伝わるずっと以前、先史時代から始まると言われる陶器の歴史と文化を感じられる町です。

<カタニーヤから68km、車で1時間15分>

Orvieto オルヴィエート (ウンブリア州)

オルヴィエートは中世の趣と美しい大理石の大聖堂、エトルリアの中心地として栄えた古い歴史で訪れる人を魅了します。この土地の陶器はイタリアのその他とは異なり、神話からとった絵柄と黒と緑を貴重とした色使いの優しい雰囲気が特徴です。中世の焼き物がここで発掘され、1920年代に工芸品として復活して以来ワインに次ぐ産業として盛んになりました。小さな陶器工房やお土

産店に立ち寄りながら、魅力溢れる中世の町の散策はいかがでしょう。

<ローマから約 123km、車で 1 時間半>

お気軽にお問い合わせください。

ボスコロツアーズ(ビーティージャパン)

TEL: 03-3472-1610

FAX: 03-3472-1617

eメール: tokyo.office@boscolo.com

ビーティージャパンURL: www.btjapan.co.jp

ボスコロホテルズURL www.boscolohotels.com